

放射線技術部だより

白十字病院 放射線技術部 広報誌

Aquilion Serve

本号の記事：

Canonとの共同研究 - 1-2
ページ

新人技師 - 3ページ

画像提供：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

Canonとの 共同研究

当院で世界第一号機となった「Aquilion Serve」。何もかも一新されたこの装置の登場でこれからのCTが変わる予感がしています。今回は前回に引き続き、最新のトピックスである「Aquilion Serve」について、開発元であるキヤノンメディカルシステムズと、我々診療放射線技師が行っている研究について紹介します。

研究は現在進行形で行っているため結果などはお伝えできませんが、臨床現場での本研究が今後の医療の発展に繋がっていくと考えております。

研究内容紹介

研究の目的

最新の自動化技術を有し、シンプルな操作で一新されたワークフローを実現する「Aquilion Serve」の臨床の現場にて検査時間の短縮、診療放射線技師の業務ストレス削減効果をもたらすことを証明します。

データの収集方法

昨今話題の「eye-tracking(アイトラッキング)」を用いてデータ収集をしています。「eye-tracking」とは、眼鏡のような機械を装着することで人の瞳孔を検知し、その人が何を見ているかをリアルタイムに追うことができるセンサー技術です。

アイラッキング

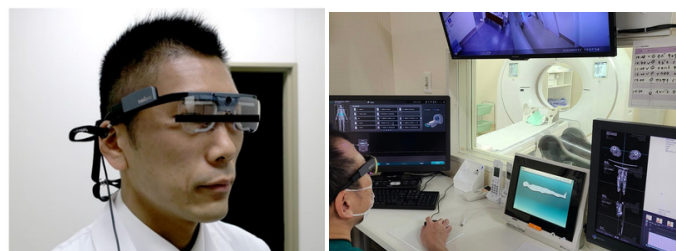
評価・解析

当院ではCT装置2台

「Aquilion Serve」(新)

「Aquilion One」(従来)を使用しています。

それぞれの検査中の意識・ストレス度合いのアンケートをとり、結果を解析・フィードバックすることで、これからのCT装置の開発に繋がります。



画像提供：キヤノンメディカルシステムズ株式会社



新Serveインターフェース



従来Oneインターフェース

画像：トビー社解析ソフトでのゲイズプロットイメージ

新人技師 Vol.2

令和4年度の新入職員、下田技師の成長記録（全3回）

近況報告

10月から頭部MRIを学び始め、一般撮影・CTの救急患者の対応も少しずつですが、一人で出来るようになってきました。今月末にいよいよ当直デビューも決定し、ドキドキしながら毎日準備を進めています。

その他は月2回、放射線科医師と診療放射線技師で行っている「合同カンファレンス」の当番があるので、急性膵炎について勉強しています。「合同カンファレンス」はアットホームな雰囲気ですが、初めて先生たちの前で話すので緊張しています。

一年目遍歴

4月	一般撮影
5月	一般撮影・透視
6月	一般撮影・透視
7月	心カテ
8月	CT
	心カテ待機スタート
9月	CT
10月	MRI
11月	MRI
12月	頭頸部3D-CTA

1月	当直スタート 合同カンファレンス
----	---------------------



11月MRI勉強中